

公表

## 放課後等デイサービス「あすなろ」における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス あすなろ		公表日	令和7年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	70%	30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレハブ設置予定で補っている。</li> <li>・子どものかごやタオルをかけるスペースが必要。</li> <li>・少々手狭ではあるが机の移動等で工夫している。</li> <li>・利用者が多い日は少し狭いと感じる。</li> <li>・子どもの発達特性に対応した個別の部屋が用意されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数に対して、法的には十分な面積が確保されている。</li> <li>・聴覚過敏の利用者さんや対人面の課題を持っている利用者さんに対して、プレハブハウスを建設して個別対応を行い、より細やかに配慮できるように改善している。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの重い利用者さんが多いため、法的な人員配置の約3倍の人員配置を行っている。</li> <li>・事情により定員を超過した場合には、法的に十分な人員配置を行っている。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃや教具が片付けやすいようにロッカー等に写真を貼る等の工夫をしている。</li> <li>・プレハブハウスの設置により、より用途を構造化して使用することができるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き視覚的支援や、生活空間の構造化に努力し、子ども自身が自分でできるための改善を努力する予定。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修や打ち合わせの機会を活用し、業務改善について常に話し合いの機会を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の目標管理に関する、面接・自己評価を充実させ、業務改善における職員全体の参画を図れるよう努力する。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あすなろのホームページ上で公開されていると共に保護者会で一年間の取り組みを説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会の開催については、回数を増やしてほしいという要望が多く、年間1回ではなく機会を増やすことを検討していく。</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月一回のテーマ研修と外部研修参加により、職員の技量向上に努めるよう確保されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の勤務形態が多岐にわたるため、意見集約の機会が確保されにくいことを鑑み、個別の面談の機会を増やす。</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価委員会への自己評価結果の報告、改善点の説明を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員への周知が定まっていないことに関する反省を元に、第三者委員の意見を報告する機会を設ける。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回の職員研修の定期開催を実行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回の研修会開催のみならず、必要な課題に関して、日常的研修を確保する努力が必要。</li> </ul>
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援には特に力を入れており、保護者からの意見を重視している。</li> <li>・「移行支援」「地域支援・地域連携」については今後の課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「移行支援」については関係諸機関との連携を深めていく努力が必要。</li> <li>・「地域支援・地域連携」については、どのような方策の可能性があるかについて検討が必要。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の人のみで行っている。仕方がないが希望や意見を取り全体で考えるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務体系（午後から出勤する等）が多岐にわたっているため、意見集約が難しい一面があるが、意見集約及び周知に関して努力する必要がある。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の時間が短いことと、学校・学年の違いにより帰着時間の差が大きいこと、平日は活動プログラムの固定化が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムのマンネリ化を防ぐとともに、子どもたちの休息の必要性も考慮する必要がある。</li> <li>・多くの活動を取り入れるだけではなく、個々の課題に応じた効率の良い療育を計画する必要がある。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0		

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0	・支援開始前に日程・担当・注意事項を確認している。	・支援開始前の打ち合わせの重要性を共有し、今後も必ず継続する予定。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%	・終了後ではないが翌日には必ず打ち合わせを行っている。	・終了後は送迎のため打ち合わせ時間は確保できない⇒療育当日の記録をもとにして、次の日には必ず振り返り、改善方法の共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0			
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%	0			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	90%	10%	・計画上は連携体制を整えている。	・教育機関との連携には力を入れているが、その他の機関との連携について模索する必要がある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	20%	80%	・セッティングしての交流はないが公共の場(公園等)で譲り合って遊ぶ等のふれ合いは出来ている。	・支援学校の児童が多いため、校区のばらつきが大きく、かつ、学校で居住地校交流を実施しているため、放デイにおいて保護者が希望していない場合が多い。 ・年間1回程度の取り組みについて検討することよい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	80%	20%	・参加についての知識が無い職員が多い。	・自立支援協議会についての学習を深め、積極的参加の方策を模索する必要がある。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加ができる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0			
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0		
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0		
		38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0		
		39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0		
		40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0		
		41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0		
		42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0		
		43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	30%	70%	・地域の方にいつ来ていただいても恥ずかしくないように日頃から美化に努め招待する行事を設けたい。	・歴史がある事業所なので、地域の方との交流については、職員レベルでは行っている。 ・まずは、活動内容を知っていただくために、行事等の開催を検討するとよい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0		